

人工林間伐により下草の生える環境を整えた事例

事業名：環境貢献林整備事業

市町名：福山市

取組のきっかけ・経緯

・森林所有者から、手入れができず放置された森林の整備について相談を受け、本事業を実施することとなった。

今後の展開

・公益的機能を持続的に発揮するために継続して森林管理を行う必要がある。

取組の内容

- ・事業主体：福山市
- ・実施場所：福山市新市町他
- ・業務委託先：広島県東部森林組合
- ・業務量：2.92ha
- ・業務金額：1,097千円
- ・業務期間：令和5年3月9日～3月31日

取組後の感想

【良かった点】

・手入れがなされず放置された森林を整備し、下層植生を回復させる環境づくりを行うことができた。

【整備前】



【整備後】



遊歩道周辺の整備と景観伐採を行った事例

事業名：里山林整備事業（環境改善型）

市町名：福山市

取組のきっかけ・経緯

・地域から、危険木伐採や景観改善のための森林整備を実施し、地域資源として活用したいとの要望があった。

今後の展開

・地域住民による整備を続け、地域の憩いの場として活用を続ける。

取組の内容

- ・事業主体：広島県東部森林組合
- ・実施場所：福山市新市町
- ・実施量：1.96ha
- ・実施金額：8,733千円
- ・実施期間：令和5年2月13日～3月31日

取組後の感想

【良かった点】

- ・遊歩道周辺の整備を行ったことで、子どもや高齢者でも登りやすくなり、地域全体で活用できるようになった。
- ・整備により、景観がよくなり、眺望を楽しむことができるようになった。

【整備前】



【整備後】

